

令和 7 年度

苫小牧市 子ども・若者支援地域協議会 代表者会議

令和 7 年 5 月 22 日（木） 13 時 30 分～
苫小牧市役所 9 階 議会大会議室



【 次 第 】



1 開 会

2 挨 拶 苫小牧市子ども・若者支援地域協議会 会長 野見山 慎一

3 報 告

- (1) 令和6年度事業報告について
- (2) とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談件数
- (3) 生徒の傾向と必要とする支援について（北海道教育庁胆振教育局）
- (4) 不登校対策と生徒の傾向 （教育委員会 指導室）

4 議 題

- (1) 令和7年度運営方針（案）について
- (2) 苫小牧市子ども・若者支援地域協議会構成機関ガイドブックについて
- (3) その他

5 閉 会

【 報 告 】

(1) 令和6年度事業報告について

① 会議の開催状況

○ 代表者会議

【開催日】 令和6年7月3日（水）

【参加者数】 36名（29機関・団体）

【開催内容】 報告 (1) 構成機関・団体の追加について
(2) 令和5年度事業報告について
(3) とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談件数
(4) とまこまい若者サポートステーション活動報告

議題 (1) 令和6年度運営方針（案）について
(2) その他

講演 テーマ：【切れ目のない支援体制づくり】
講 師：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会こども若者支援担当部長
札幌市若者支援施設統括責任者
一般社団法人ソーシャルペタゴジーネット代表理事
松田 考 氏

○ 実務者会議

【開催日】 令和6年10月29日（火）

【参加者数】 36名（30機関・団体）

【開催内容】 報告（構成機関・団体の取組）

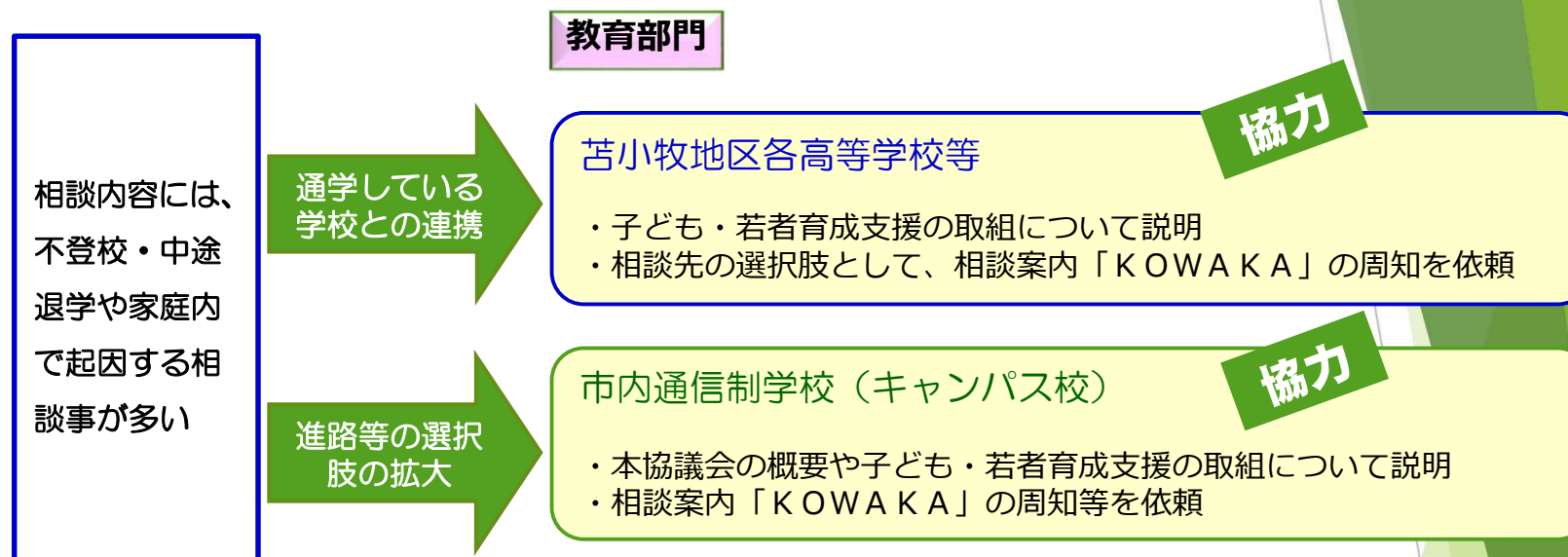
社会福祉協議会：新田氏、胆振教育局：森蔭氏、教育委員会指導室：岩井氏
こども相談課：伊澤氏、総合福祉課：岩城氏、少年指導センター：杉上氏

講演 テーマ：【子ども・若者支援ネットワークの構築について】

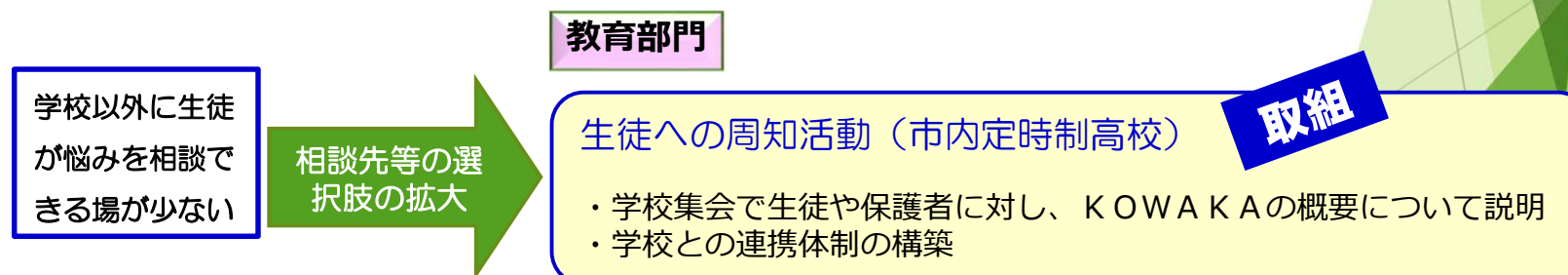
講 師：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会こども若者支援担当部長
札幌市若者支援施設統括責任者
一般社団法人ソーシャルペタゴジーネット代表理事
松田 考 氏

グループ交流：テーマ「心地よいつながり方、つながり方について」

② 高等学校・通信高校へ協力依頼の取組



③ 学生に向けた取組



④子ども・若者に向けた取組

相談・支援以外
での中高生世代
に対する孤独・
孤立の解消に向
けた取組

中高生の
居場所提供

健全育成

児童センターの利用促進

- ・ 中高生が利用できる時間帯に設定（中高生タイム週2回）
- ・ 中高生が集まりやすいイベントによる参加促進（とまチル月1回）

取組

児童センター内
で小・中・高生
向けに相談場所
を設置

中高生の
居場所の提供

健全育成

他機関相談事業との連携

- ・ 困りごと等に対し安心してお話しができる場所
- ・ 機関同士の連携が円滑

取組

(2) 令和6年度とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談状況



① 相談者・相談方法別 件数

当事者の相談増

相談者・相談方法		年齢別	未就学児	小学生	中学生	15～17歳	18～19歳	20～30歳	31～39歳	その他	R6 合計(a)	R5 合計(b)	a-b
本人	簡易申請										0	1	△ 1
	来庁		1	1	3	2	3	1	1		12	3	9
	電話				1		1				2	1	1
	学校訪問				4						4	0	4
家族	簡易申請				1						1	2	△ 1
	来庁		6	4	9	1	5		1		26	7	19
	電話		1	2	3	2			1		9	14	△ 5
支援機関	簡易申請										0	0	0
	来庁										0	4	△ 4
	電話										0	0	0
その他	簡易申請										0	0	0
	来庁				1		1				2	0	2
	電話										0	1	△ 1
合 計			1	9	5	22	5	10	1	3	56	33	23

相談件数約1.7倍増

② 相談内容件数

年齢別 相談内容	未就学児	小学生	中学生	15～17歳	18～19歳	20～30歳	31～39歳	その他	R6合計 (a)	R5合計 (b)	a-b
学校生活									0	1	△1
就学・学習支援									0	0	0
進路（進路変更含む）				1					1	0	1
いじめ				3					3	0	3
ひきこもり・不登校		7	1	2					10	4	6
家庭生活									0	0	0
心の健康				7					7	4	3
児童虐待・養護									0	1	△1
子育て		1	2	1					4	7	△3
親子関係		1	1	5	3	3			13	3	10
交友関係				1					1	3	△2
生活困窮・借金						1			1	4	△3
障害（発達含む）			1	1	1	3		2	8	1	7
就労・失業					1	2			3	5	△2
その他	1			1		1	1	1	5	0	5
合 計	1	9	5	22	5	10	1	3	56	33	23

家族関係に起因
する相談増

③ 年齢別件数

R5年度

相談者・相談方法		年齢別								R5合計(a)	R4合計(b)	a-b
		未就学児	小学生	中学生	15～17歳	18～19歳	20～30歳	31～39歳	その他			
本人	簡易申請							1		1	0	1
	来庁					1	1		1	3	7	-4
	電話					1				1	2	-1
家族	簡易申請				1	1				2	1	1
	来庁		2			2	3			7	6	1
	電話		4	2	2	2	2	1	1	14	12	2
支援機関	簡易申請									0	1	-1
	来庁		1		1	1			1	4	0	4
	電話									0	2	-2
その他	簡易申請									0	0	0
	来庁									0	0	0
	電話			1						1	0	1
合 計		0	7	3	4	8	6	2	3	33	31	2

R6年度

相談者・相談方法		年齢別								R6合計(a)	R5合計(b)	a-b
		未就学児	小学生	中学生	15～17歳	18～19歳	20～30歳	31～39歳	その他			
本人	簡易申請									0	1	△ 1
	来庁		1	1	3	2	3	1	1	12	3	9
	電話				1		1			2	1	1
	学校訪問				4					4	0	4
家族	簡易申請				1					1	2	△ 1
	来庁		6	3	9	1	5		1	25	7	18
	電話	1	2	1	3	2			1	10	14	△ 4
支援機関	簡易申請									0	0	0
	来庁									0	4	△ 4
	電話									0	0	0
その他	簡易申請									0	0	0
	来庁				1		1			2	0	2
	電話									0	1	△ 1
合 計		1	9	5	22	5	10	1	3	56	33	23

高校生世代
の相談増

③ 令和6年度の相談傾向

- ・相談56件のうち36件（約6割）が家族からの相談
- ・当事者からの相談18件（前年度5件）

対象者の年齢区分	R5件数	R6件数	R6相談内容
小学生	7	9	ひきこもり・不登校など
中学生	3	5	子育て・親子関係
15～17歳	4	22	いじめ・不登校、心の健康、親子関係など
18～19歳	8	5	親子関係、就労など
20～30歳	6	10	生活困窮、就労、親子関係など



相談傾向と対応

- 当事者本人からの相談が増加（前年度より約4倍増加）
 - 相談案内「KOWAKA」の周知活動の成果
- 小中学生
 - 子育てに関する相談は、学校や福祉等の関係機関・団体への引継ぎ先がある
- 15～17歳（高校生世代）
 - 家庭内に起因する相談が増えており、相談先が少ない
- 18歳以上
 - 生活困窮や就労等の相談は、福祉や雇用といった関係機関・団体への引継ぎ先がある

【 議 題 】

(1) 令和7年度運営方針（案）

子ども・若者に対する切れ目のない支援体制の構築

令和6年度の「KOWAKA」相談状況から見える課題

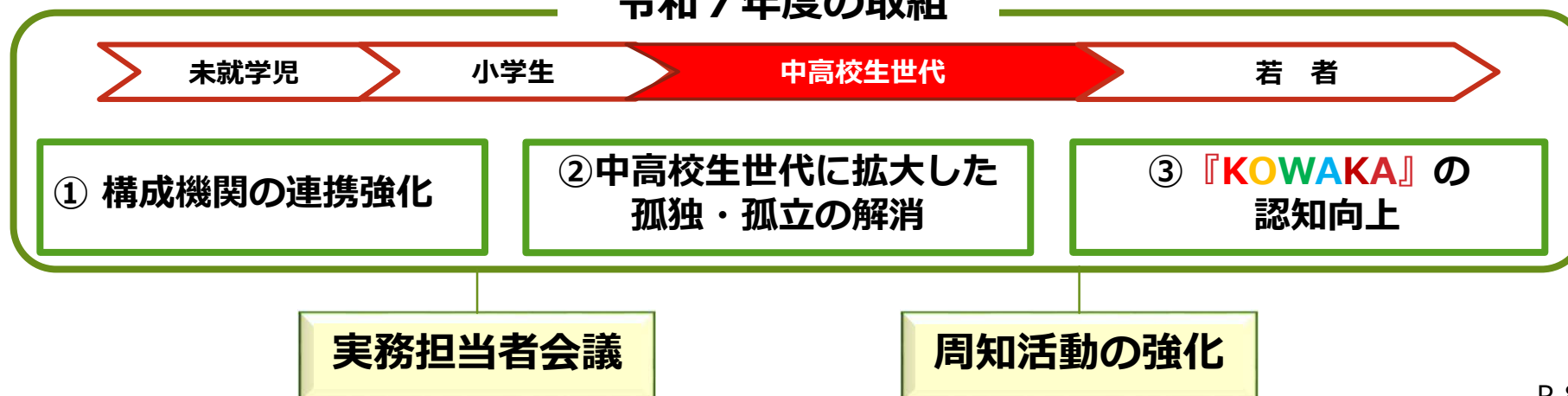
- ① 制度や支援が途切れやすい高校生世代に対し、学校等との連携強化
- ② 複合化・複雑化した課題に対し、構成機関や関係団体間の支援体制確立

必要な対応

- ① 高等学校や生徒へのKOWAKA相談窓口の周知
- ② 中高生世代に広げた取組
- ③ 実務者間の相互理解の促進

重点方針：中高高校生世代への支援強化

令和7年度取組



① 構成機関の連携強化



各種会議の開催

○ 代表者会議

【開催日】 令和7年5月22日（木）

【開催内容】 報告 （1）令和6年度事業報告について
（2）とまこまい子ども・若者なんでも相談案内『KOWAKA』の相談件数
（3）生徒の傾向と必要とする支援について（北海道教育庁胆振教育局）
（4）不登校対策と生徒の傾向（教育委員会 指導室）
議題 （1）令和7年度運営方針（案）について
（2）苫小牧市こども・若者支援地域協議会機関ガイドブックについて
（3）その他

○ 実務担当者会議

【開催日】 令和7年10月下旬（予定）

【開催内容】 講師：合同会社Co-Work-A 代表社員兼CEO 田中 成幸氏（予定）（こども家庭庁AD）
グループワーク
・「相互に相談しやすい環境づくり」と「支援機関の連携強化」をテーマに意見交換
・ 関係機関の担当者同士が共通のテーマについて学び理解を深めることで、それぞれの組織の強み・弱みを認識し支援機関の連携強化に向けた関係づくりを行う

○ 研修会

【開催日】 令和8年2月上旬（予定）

【開催内容】 講演：石狩市ひきこもりサポートセンターでの取組について～居場所づくりや就労体験などを通じた子ども・若者支援～（予定）
講師：NPO法人ジェルメ・まるしえ 理事長 新田 大志氏（予定）
グループワーク
・「不登校・ひきこもりをテーマに事例検討」

相談・支援機関を掲載したリーフレット作成

- ・ 苫小牧市内の子ども・若者に関わる相談窓口や、支援機関・団体等を紹介
- ・ 高等学校等を含む構成機関窓口に設置の協力依頼
- ・ 市ホームページからもダウンロード可能

② 中高校生世代に拡大した孤独・孤立の解消

- ・ 中高生に対する居場所づくりの取組 → 相談しやすい環境を構築
- ・ 苫小牧地区各高等学校等に対する不登校生徒及び中途退学者状況調査を継続
- ・ 高校中退者等の進路の選択肢拡大につなげる取組

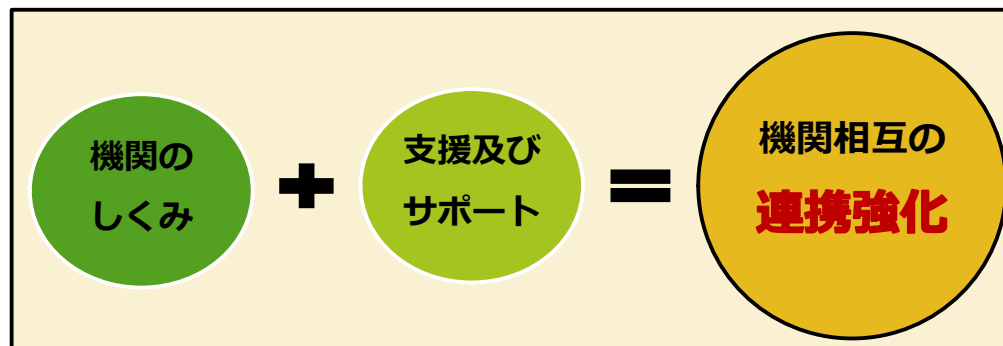
③ 『KOWAKA』の認知向上に向けた取組

- ・ 中学・高等学校等への相談案内「KOWAKA」の存在を周知
- ・ SNSを使った周知の継続
- ・ 市内公共施設へ「KOWAKA」のポスター及びチラシの設置を継続依頼

(2) 苫小牧市こども・若者支援地域協議会構成機関ガイドブックについて

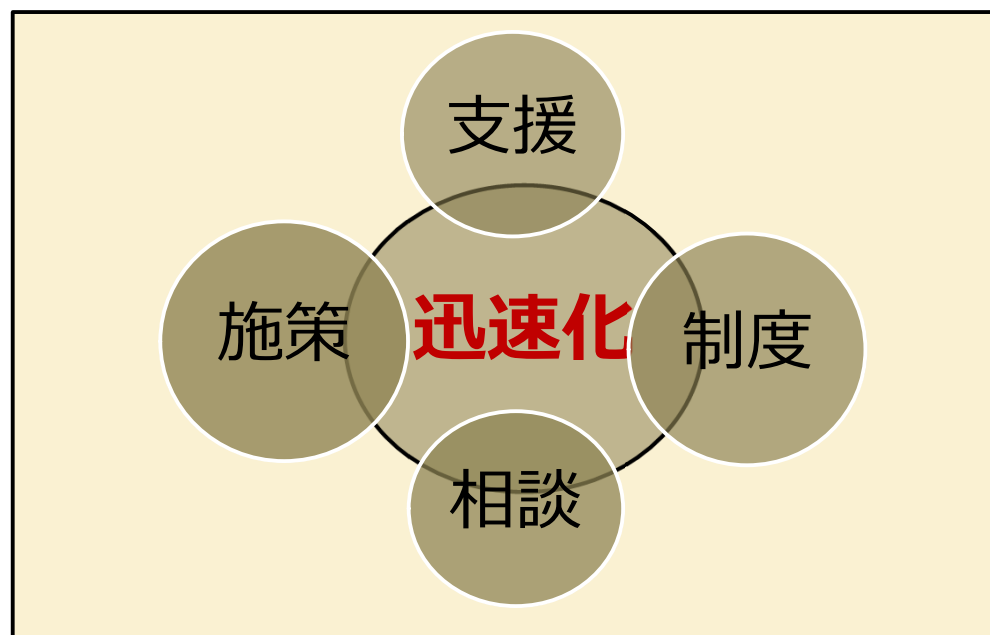
ガイドブックの目的

・・・関係機関相互の連携強化



ガイドブックの利用により期待する効果

・・・相談・支援の迅速化



(3) その他